

老後の年金 マイナポータルとは



CONTENTS

老後の年金

マイナポータルとは

税理士法人アクシス
社会保険労務士法人アクシス
行政書士法人アクシス
株式会社徳島経理代行センター
株式会社マネジメント・スタッフ
有限会社エムエスサービス

【徳島本社】
〒770-0051
徳島市北島田町1丁目3番地3
TEL 088-631-8119
FAX 088-632-6543

【吉野川支店】
〒776-0005
吉野川市鴨島町喜来字宮北485番地1
TEL 0883-26-0182
FAX 0883-26-0187

老後の年金

～老後の年金、一体いくらもらえるの？～

年金問題がささやかれる中、年金について漠然とした不安を感じている方も多くいるかと思えます。年金制度そのものに対する疑問を持つ人も少なくないようです。では、皆さんは年金の支給額がいくらなのかご存知でしょうか？

■年金受取金額の算出方法は？

将来もらえる公的年金には、以下の図のとおり、国民年金（基礎年金）と厚生年金の2つがあります。それぞれいくら受け取ることができるのか見ていきましょう。



1. 国民年金保険

すべての方が加入する国民年金（基礎年金）は、20歳から60歳までの40年間（480月）保険料をきちんと納付していれば、平成29年度の価格としては、次の計算式で金額がでます。

$$\text{国民年金の年額} = 77 \text{ 万 } 9,300 \text{ 円} \times \text{加入期間（保険料納付期間・月数）} \div 480 \text{ 月}$$

例えば、300月（25年）納付期間があれば、
 $77 \text{ 万 } 9,300 \text{ 円} \times 300 \text{ 月} \div 480 \text{ 月} = 487,062 \text{ 円}$
 つまり、納付期間が短くなるとそれだけ年金額が減る仕組みです。

2. 厚生年金保険

厚生年金は、1階部分の国民年金（基礎年金）と2階部分の厚生年金とで成り立っています。厚生年金を自分自身で算出するのはなかなか難しいものですので、ここでは参考になる簡単な計算式をご紹介します。

$$\begin{aligned} & \text{厚生年金の概算を求める計算式} \\ & \text{平均月給（賞与含まず）} \times 900 \times \text{加入年数（平成15年3月まで）} \\ & + \text{平均月給（年収} \div 12 \text{）} \times 660 \times \text{加入年数（平成15年4月から）} \end{aligned}$$

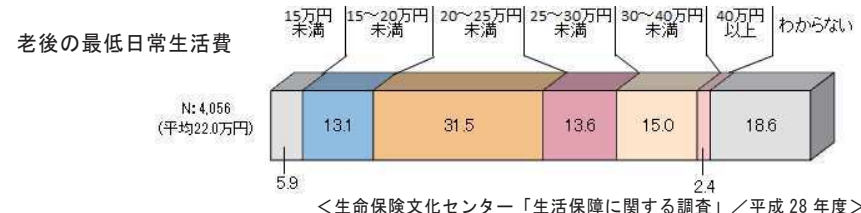
例えば、
 平成15年4月までの平均月給（賞与含まず）が25万円で、厚生年金の加入年数が20年あったとすると、 $25 \times 900 \times 20 \text{ 年} = 45 \text{ 万円}$
 平成15年4月以降の平均月給（年収 $\div 12$ ）が40万円で、加入年数が15年あるとすると、 $40 \times 660 \times 15 \text{ 年} = 39 \text{ 万 } 6,000 \text{ 円}$
 合計すると、 $45 \text{ 万円} + 39 \text{ 万 } 6,000 \text{ 円} = 84 \text{ 万 } 6,000 \text{ 円}$
 と計算することができます。
 あくまでも概算で参考程度でしかありませんが、お手軽に年金額をイメージしたいという場合に試してみてください。

■年金の平均額はいくら？

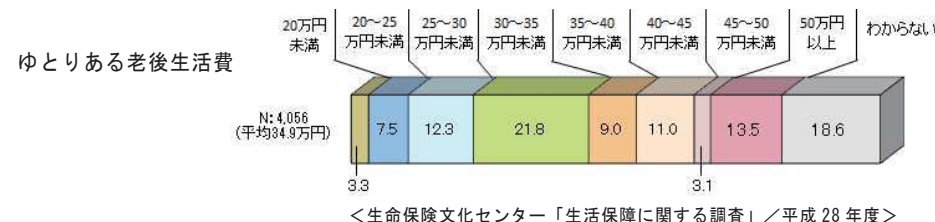
厚生労働省が2017年3月に発表した「平成27年度厚生年金保険・国民年金事業の概況」という報告書によると、「年金支給額は、**国民年金が平均月額で5万5千円、厚生年金は14万7千円**」という実績が公開されています。

■老後の生活にいくら必要？

生命保険文化センターが行った意識調査によると、夫婦2人で老後生活を送る上で必要と考える**老後の最低日常生活費は月額で平均22.0万円**となっています。分布をみると「20～25万円未満」が、31.5%と最も多くなっています。



また、ゆとりある老後生活を送るための費用として、最低日常生活費以外に必要な金額は平均12.8万円となっています。その結果、「最低日常生活費」と「ゆとりのための上乗せ額」を合計した「**ゆとりある老後生活費**」は**平均で34.9万円**となります。なお、ゆとりのための上乗せ額の使途は、「旅行やレジャー」がもっとも高く、以下「身内とのつきあい」「趣味や教養」と続いています。



■公的年金だけでは不十分？

以上を踏まえると、多くの人にとって、公的年金の支給額だけでは老後の生活はまかなえそうにないという結果です。

将来的にはさらに年金受給額は減る傾向にあります。とはいえ、これらの公的年金は生涯受給できる大切な収入源。受給できる年金額を増やしながら、独自で老後の資金計画を立てるという2本立ての対策が必要ですね。ご自分が老後どの程度、年金を受取れるか試算していただき、今からでも老後の資金計画を立てておくことが大切です。

会計サービス七課 上柿 佳織



マイナポータルとは

～電子行政サービスが加速する～

2016年1月にマイナンバーの正式運用が始まり、これまでに年末調整・確定申告・社内保険などの業務でマイナンバーが活用され始めています。行政機関同士の連携がスムーズになり、業務効率化やミスの減少、不正の防止などがその効果として挙げられますが、国民の立場からすれば行政への提出書類にマイナンバーを記載する必要があるだけでなく、便利さを実感する場面というのはそれほど多くなかったのではないのでしょうか。

今回解説するマイナポータルは、国民一人ひとりが利用できる、**マイナンバーを使った電子行政サービス**です。

■マイナポータルとは

マイナポータルは、政府が運営するインターネット上の個人向けポータルサイトです。利用者(国民)はこのサイトにログインすることで、各種行政手続をワンストップで行うことができるようになります。URLは、以下の通りです。

<https://myna.go.jp/>

マイナポータルでは、利用者のマイナンバーを使って以下のようなサービスが提供される予定です。※個人向けのサービスであり、法人では利用できません。

＜マイナポータルの主なサービス（予定）＞

情報提供等記録表示 (やりとり履歴)	情報提供ネットワークシステムを通じた住民の情報のやり取りの記録を確認できる
自己情報表示 (あなたの情報)	行政機関などが持っている自分の特定個人情報を確認できる
お知らせ	行政機関などから個人に合ったきめ細やかなお知らせを確認できる
民間送達サービスとの連携	行政機関や民間企業等からのお知らせなどを民間の送達サービスを活用して受け取ることができる
サービス検索・電子申請機能 (びったりサービス)	地方公共団体の子育てに関するサービスの検索やオンライン申請(子育てワンストップサービス)ができる
公金決済サービス	マイナポータルのお知らせを使い、ネットバンキング(ペイジー)やクレジットカードでの公金決済ができる
もっとつながる (外部サイト連携)	外部サイトを登録することで、マイナポータルから外部サイトへのログインが可能になります

平成29年より順次サービス開始予定

<http://www.cao.go.jp/bangouseido/myna/index.html> より引用

■マイナポータルの運用スケジュール

マイナポータルは、当初は平成29年1月からの正式運用開始を予定していましたが、大幅に遅れており、平成29年7月18日より試運転が開始されました。この試運転では、一部のサービス(子育て関連サービス)を先行実施する他、3ヶ月程度を目安に、異なる行政機関同士で情報が正しくやり取りできるかどうかの確認が行われることになっており、正式にすべての利用者が使用できるようになるのは平成29年秋頃になると言われています。

■マイナポータルを利用するには

マイナポータルはパソコン等で使用することが想定されており、本人認証を行うため、以下のものが必要になります。

マイナンバーカード (旧名：個人番号カード)	公的個人認証サービスに必要な電子証明書が含まれるICチップ入のカードで、マイナポータルにログインする際の本人認証を行うために必要。交付申請は、郵送やオンライン等で行うことができる。詳細は以下のURLを参照。 https://www.kojinbango-card.go.jp/kofushinse/
ICカードリーダライタ	マイナンバーカードをパソコンに読み取らせるための機器。家電量販店等にて数千円で購入できる。様々な種類があるが、マイナンバーカードに対応したものを用意する必要がある。対応機器については以下のURLで紹介されている。 https://www.jpki.go.jp/prepare/reader_writer.html
パソコン等	インターネットに接続できるパソコンであれば、OSはWindows、Macは問わないが、ブラウザやJava実行環境などには指定がある。現時点ではWindowsに関しては動作推奨ブラウザがInternet Explorer 11とされており、Chrome、Firefox、Microsoft Edgeなどが対象外となっているため、注意が必要。詳細は以下のURLで確認できる。 https://img.myna.go.jp/html/dousakankyou.html

マイナンバーカードは、交付申請後、届くまでに少し時間がかかる(筆者が2017年2月に申請した際は1ヶ月程度かかった。)ので、ご注意ください。

これらを用意した上で、以下の流れで利用を開始します。

手順1. Java 実行環境 (JRE) のインストール

手順2. JPKI 利用者クライアントソフトのインストール

手順3. ブラウザのセキュリティ設定を変更

手順4. アカウント情報を登録

※詳しい操作マニュアルは、マイナポータル画面の右上にある「使い方」をクリックすると表示されます。

現時点では利用開始の手順が少し面倒ですが、今後はChromeなどの主要ブラウザへの対応、スマートフォンへの対応、WindowsやMacで使える専用のアプリケーションの開発が予定されており、これができるれば利用はかなり楽になると思われます。

■マイナポータルで実現できること

現時点では試運転中であるため詳細は未定ですが、行政機関から自分宛に必要なお知らせ・各種社会保険料の支払金額・確定申告等を行う際に参考となる情報、などの入手等が行えるようになる予定です。また、引越しなどの際の官民横断的な手続のワンストップ化や、納税などの決済をキャッシュレスで電子的に行うサービスも検討されています。さらに、民間事業者との連携も予定されており、例えば金融機関が利用者の同意を得れば、マイナポータル経由で利用者の所得額を把握してローン審査のための添付書類をなくす、といったことも可能になると思われます。(民間事業者と連携する場合は、マイナンバーは使用されず、マイナンバーカードに含まれる電子証明書が使用されます。)官公署や銀行窓口に出向くことなく書類提出や送金などが行えるようになるため、手続きが便利・迅速になることが期待できます。

今後、日本政府は電子行政サービスを一層推し進める方針であり、マイナポータルはその中心インフラ的存在となることが想定されます。将来的にはさらに金融機関やFintech事業者も含め、多くのサービスが展開されると思われます。使い勝手の悪さや行政機関同士の情報連携などまだ課題はありますが、10年後には、日本中の誰もがマイナポータルを便利に使う世の中になっているかもしれません。

行政書士
山崎 裕行

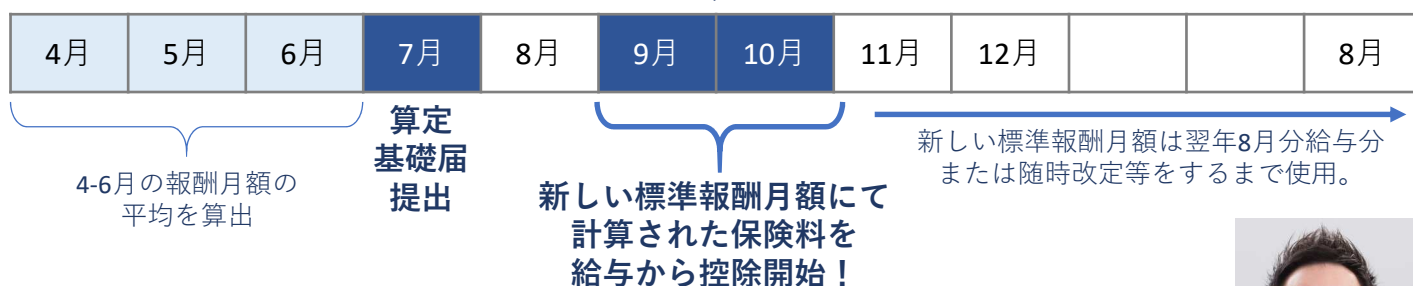


9月分の社会保険料より 変更が必要です！

社会保険の算定基礎届を提出した事業者は、
8月に届く「決定通知書」をもとに社会保険料
の標準報酬月額を見直してください！

● 定時決定の流れ

今ココ！



● 保険料変更のタイミング

当月と翌月控除のタイミングがあります。会社の処理方法に従ってください。

- ✓ 当月控除の場合 → 9月に支払う給与から変更してください
- ✓ 翌月控除の場合 → 10月に支払う給与から変更してください



社会保険労務士
樫葉 稔

※ご不明点等ありましたら、社労士法人アクシスまでお気軽にご連絡ください

もう余計なことはやりたくない！
全ての社会保険手続きを何とかしたいときは

■ 顧問契約料金表※30名以上の場合は別途お見積り

社労士
顧問契約

従業員数 (役員・パート含む)	右記以外（税抜）	建設・飲食 県外事業所（税抜）
1-9名	月額10,000 円	月額15,000 円
10-19名	月額15,000 円	月額20,000 円
20-29名	月額20,000 円	月額25,000 円

まるごと 経理事務代行

記帳・給与・振込など
全部まるごとまかせて

29,800円～

次のような方に最適なサービスです

経理担当がやめ
てしまった方



社員に経理をまか
せられない方



業務を効率化
したい方



コスト比較（経理代行⇔パート雇用）

経理代行		パート雇用
記帳	5,000円／～50仕訳	時給800円 × 5時間/1日 × 20日/月 週5日×4週
タイムカード集計	6,000円／～2,000円×3名	
給与計算		
請求書発行	7,000円／～10件	
振込・支払	10,000円／～10件	
その他振込代行	1,800円	
月額	29,800円	80,000円
年額	357,600円 ←	960,000円



経理丸投げで人件費**約6割**削減！年額**60万**コスト削減！

お申込みいただくサービスの組み
合わせにより料金が異なります。
まずはお見積から。



088-634-1223

担当：笠井（雅）・近藤

株式会社徳島経理代行センター 〒770-00051徳島市北島田町1丁目3番地3

ASP(クラウド型)

メーカー様
卸業者様 向け
サービス

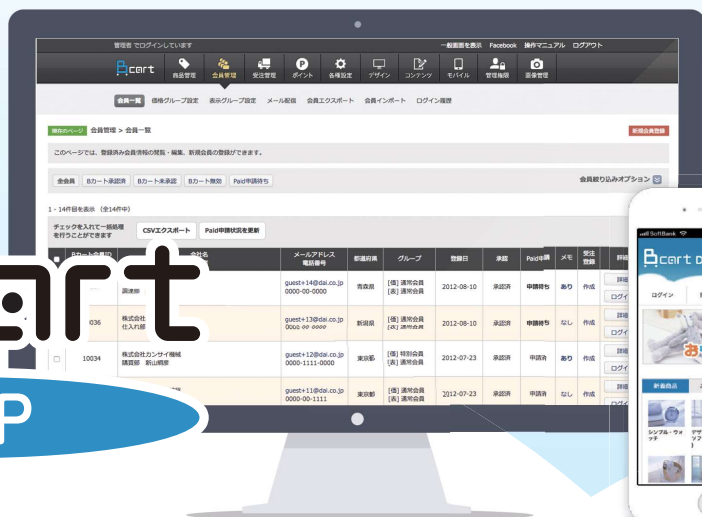
運営実績

No.1

導入300社突破

BtoB EC・

Web受発注システムの決定版!

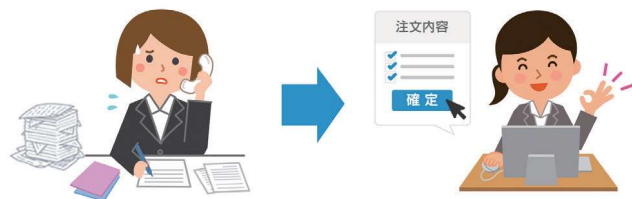


スマホ発注
対応



手間のかかる確認・入力作業を解消!

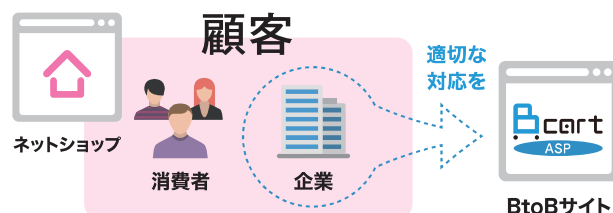
電話・FAX受注を
Web受注へ



BカートASPなら24時間いつでもWebで受注が可能。在庫状況・顧客ごとに違う取引条件の確認、見積書作成などの対応業務を自動化できます。

顧客別の価格・決済に対応できる!

企業相手の取引は
専用のBtoBサイトで



消費者と企業では、取引時に求められる事が異なります。BカートASPならBtoB特有の商習慣に対応済。本格的なBtoBサイトがすぐに運用開始できます。

9,800円/月～、最短3日で利用開始

株式会社徳島経理代行センターにお問い合わせください

【お問い合わせ】 ☎088-634-1223 ✉kasaim@m-staff.com 担当: 笠井雅也